

2015年11月26日

単独マネジメント局長 様

日本郵便信越支社長

川 野 陽 一

日々の業務運行・営業推進の陣頭指揮、誠にありがとうございます。

また、マイナンバー郵便物の配達等業務、年賀はがきの販売にご尽力いただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、第3四半期も残すところ1か月余りとなり、最繁忙期を迎えるわけですが、各種営業目標達成のためには、この時期における営業活動量の増加が求められているところです。

金融窓口事業においては、営業収益の約50%を占める貯金営業、とりわけ「定額・定期貯金新規預入」推進が、計画から約150億円遅れている状況(11/25現在)にあり、年間最大の著増期である12月期に挽回を図らなければ、目標達成が厳しい状況となってまいります。

各局長におかれましては、この厳しい状況を十分理解され、12月1日から実施するお客さま向け「ゆうちょ冬のオトクな抽選キャンペーン」を最大限活用した営業活動の徹底について、社員への指導とともに郵便局を挙げての取組をお願いするところです。

また、来る12月10日(木)には、待望の冬ボーナスが支給されます。郵政グループの株式上場後初めて支給される冬ボーナスを、まずは、郵便局の定額・定期貯金へ預入していただきますよう、郵便関係社員を含む全社員(旧集配センターを含む。)に対し協力要請及び声かけ等を行っていただくよう、よろしくお願い申し上げます。

※ 社員向け協力要請(掲示版等への掲出)は、添付の「社員の皆さまへ」を参考にしてください。

社員の皆さまへ

## 冬のボーナスは ゆうちよの定額・定期貯金へ

社員の皆さま、日々の業務運行確保と営業推進活動にご尽力いただき、ありがとうございます。

さて、来る12月10日(木)には、待望の冬ボーナスが支給されます。

皆さまにおかれましては、冬ボーナスの使い道を検討されていることと思いますが、今年度の「信越ゆうちよ」の営業推進(定額新規推進)は、現在まで、計画を大きく下回っており、極めて厳しい状況となっています。(約150億円の遅れ(11/25現在))

ご承知のとおり、11月4日に郵政グループ会社の株式が上場されました。これまでのお客さまに加え、投資家の方々からも一層注目されているところであり、収益確保のため営業目標は何としても必達しなければなりません。

つきましては、社員の皆さまにおかれましても、「信越ゆうちよ」の厳しい現状をご理解いただき、まもなく支給される冬ボーナスを、まずは郵便局の定額・定期貯金へ預入していただきますよう格別のご協力をお願いいたします。

寒さが日ごとに厳しさを増す季節ですが、皆さまにおかれましては、特に健康管理や交通事故等に留意していただき、ご活躍されますことを祈念申し上げます。

2015年〇〇月〇〇日

〇〇〇郵便局長 ○ ○ ○ ○



※ 日本郵政グループ社員は、「抽選」への応募はできませんが、10万円以上の貯金でラップ又はぼすくまエコバッグのいずれか、50万円以上の貯金でポスト型ブランケット又は魚沼産新米コシヒカリ(長野県内の郵便局のみ)、四万十川の川海苔佃煮(新潟県内の郵便局のみ)のいずれかをプレゼントします。